Sagara 33 Kannon Pilgrimage Guide map

相良三十三観音めぐり案内図

❶ 一番札所　清水観音（きよみず） Kiyomizu Kannon

藩主相良長毎によって京都の清水観音を勧請した千手観音。もともとは人吉城内にあり、相良家の菩提寺である願成寺境内に移された。
【ご利益】清水観音様は何でも願いをかなえてくださる。脇にある慈母観音は、良縁や母乳の出がよくなる。
【アクセス】人吉駅から国道445号を東へ2km進む。

大型バス、乗用車20台駐車可。トイレ。

❷ 二番札所　中尾観音（なかお） Nakao Kannon

21代藩主相良頼寛の夫人が建てた蓮寿庵が、焼失したため新しく建てかえる際に、願成寺から貰いうけた千手観音が安置されている。
【アクセス】相良護国神社から東に500m進み、右折してさらに500m進み、右折。

大型バス2台、中型バス3台、小型バス1台、乗用車8台駐車可。和式トイレ。

❸ 三番札所　矢瀬が津留観音（やせがつる） Yazegatsuru Kannon

初代相良長頼が人吉へ入国の時、謀殺された矢瀬主馬佑の怨霊のたたりを恐れて建てられた増運寺に残った観音堂に納められていた十一面観音。

【アクセス】人吉駅から南へ2km進み、高宮病院から左折、50m進む。

小型バス1台、乗用車3台駐車可。和式トイレ。

❹ 四番札所　三日原観音（さんじがはる） Sanjigaharu Kannon

江戸時代に造られたと伝えられているが定かではない。
【ご利益】乳房をかたどったものを奉納すると、母乳の出に霊験あらたか（おっぱいの出をよくする）。
【アクセス】人吉駅から県道15号線を西へ4km進む。

駐車場なし。トイレなし。

❺ 五番札所　鵜口観音（うのくち） Unokuchi Kannon

相良三十三観音の中で最も西の札所。本尊は十一面観音で、別に毘沙門天と不動明王も祀られている。他の地区にあった舟戸観音をこの地に移設。
【ご利益】交通安全　無病息災　豊作
【アクセス】球磨村役場から国道219号を東へ4km進み、相良橋を渡る。

小型バス1台、乗用車5台駐車可。洋式トイレ。

❻ 六番札所　嵯峨里観音（さがり） Sagari Kannon

祀られている十一面観音には「宝暦2年（1752）2月上旬彩色仕候、豊前中津仏師長谷川伝吉」との胎内銘がある。
【ご利益】子どもを守り、火災から守ってくれる。
【アクセス】西人吉駅から北へ2km進む。

小型バス1台、乗用車3台駐車可。和・洋式トイレ。

❼ 七番札所　石室観音（いしむろ） Ishimuro Kannon

海棠と眼鏡橋と石門で有名な石木寺の観音堂に安置されている木造聖観音座像。隣の厨子にも珍しい聖観音立像と二童子の立像が安置されている。
【アクセス】西人吉駅から国道219号を西へ1km進んだ球磨村境界から右折、1km進む。

中型バス1台駐車可。洋式トイレ。

❽ 八番札所　湯の元観音（ゆのもと） Yunomoto Kannon

人吉温泉発祥の地に立つ観音堂。近くには温泉神社もある。聖観音の本尊は室町期の作。
【ご利益】住民の安全、繁栄を祈って、各戸団子や護符を供えお参りし、子供たちにそのお供えものを食べさせると、病気をせず健康にめぐまれる。また、頭もよくなるといわれる。
【アクセス】人吉駅から西へ3km進んだ人吉市老人福祉センターの前にある。

大型バス1台駐車可。洋式トイレ。

❾ 九番札所　村山観音（むらやま） Murayama Kannon

観音堂は、古刹・観蓮寺と隣り合って並んで同じ境内にある。別名「大悲殿」。慈悲深い千手観音立像。
【ご利益】お堂は別名「大悲殿」と呼ばれ、「人の悩み（気持ち）が良くかわる観音さん」慈悲深い観音さんとして親しまれている。
【アクセス】人吉駅から瓦屋町交差点方面に進み、スーパーロッキーから左折、村山公園方向へ1km進む。

大型バス1台、小型バス3台駐車可。和・洋式トイレ。

❿ 十番札所　瀬原観音（せはら） Sehara Kannon

人吉市中心街にある瀬原山観音院は、曹洞宗永国寺の末寺。本尊は聖観音立像。
【ご利益】境内のガラン様は、耳の病気と喉の病気に効き目があるとか。
【アクセス】人吉駅から国道445号を東へ1km進む。

乗用車3台駐車可。洋式トイレ。

⓫ 十一番札所　永田（芦原）観音（ながた（あしはら）） Nagata (Ashihara) Kannon

観音様のお告げにより移築された聖泉禅院の境内にある観音堂。本尊は聖観音。梁の棟札には「鎮西路肥之後州球磨郡人吉庄大原臣施無畏堂再興造営」とある。
【アクセス】人吉インター出口から農免道路を西へ1km進み右折800m進む。

小型バス2台、乗用車5台駐車可。和式トイレ。

⓬ 十二番札所　合戦嶺観音（かしのみね） Kashinomine Kannon

山田の伝説が言伝になり、首をさらされた所がこの合戦嶺で、殉教の碑が建っている。ここから石段を登りつめたところに聖観音が祀られた観音堂がある。
【ご利益】合戦嶺という名から勝負ごと、競争ごとで勝利を得るのに効き目があるといわれる。
【アクセス】山江村役場から県道162号線を人吉方面へ2km進む。

乗用車5台駐車可。洋式トイレ。

⓭ 十三番札所　観音寺観音（かんのんじ） Kannonji Kannon

元中2（1385）年に七代藩主前頼が開いた臨済宗のお寺。本堂右手の観音堂に聖観音があり、両脇にあった釈迦如来像と阿弥陀如来像は本堂に移されている。境内には汗かき地蔵がある。
【アクセス】人吉駅から国道445号を東へ2km進む。

大型、中型、小型バス全て駐車可（乗用車の場合70台）。和・洋式トイレ。

⓮ 十四番札所　十島観音（としま） Toshima Kannon

本尊の聖観音が安置されている観音堂のすぐ近くには十島菅原神社があり、真宗禁制のころ、ここで仏像仏具などが焼却された。
【アクセス】人吉駅から県道33号線を東へ2.5km進み、ゴルフ場から南へ500m進む。

大型バス1台、中型バス2台、小型バス3台、乗用車10台駐車可。洋式トイレ。

⓯ 十五番札所　蓑毛観音（みのも） Minomo Kannon

十一面観音座像の台座には、元禄3年（1690）に地頭西太郎左衛門と蓑毛百姓之衆が発願し、東林寺に於て天蓋の弟子覚盟の指導で補修したとの墨書銘がある。
【ご利益】60の還暦を迎えた人々が「奉寄進」の立て旗を納め、長寿、家内安全を祈願する。
【アクセス】人吉駅から国道33号線を東へ4km、柳瀬橋手前を右折、85m右折し300m進む。

小型バス1台、乗用車5台駐車可。和式トイレ。

⓰ 十六番札所　深水観音（ふかみ） Fukami Kannon

十一面観音座像の台座には、元禄3年（1690）に地頭西太郎左衛門と蓑毛百姓之衆が発願し、東林寺に於て天蓋の弟子覚盟の指導で補修したとの墨書銘がある。
【ご利益】水の不自由な土地柄で、井戸を掘って乏しいところが多くそこは道や畑にしたという。水に対する祈願と提を守るために観音さんを祀った。麓の神さんとして有名。
【アクセス】相良村役場から100m先を右折、500m進む。

中型バス1台、乗用車6台駐車可。和式トイレ。

⓱ 十七番札所　上園観音（うえんそん） Uenson Kannon

本尊の聖観音の脇には地蔵菩薩と毘沙門天が安置されている。目の前の川辺川の向こうに南宮神社の森が見える。
【ご利益】子供を病気から守ってくれる。また、牛馬のお守りとしても知られる。
【アクセス】相良村役場から国道445号を五木方面へ4km進み、川辺大橋から右折し150m進む。

小型バス2台、乗用車5台駐車可。洋式トイレ。

⓲ 十八番札所　廻り観音（めぐり） Meguri Kannon

川辺川に面し、かつては長楽寺という寺があった。本尊の聖観音の脇には木造の阿弥陀如来立像と、石造の釈迦の涅槃像がある。
【ご利益】8カ所の観音さんとして有名。子供の頭にかぶりがあったら、虫と別の日立たないところに移った。無くなる言われる。また、牛馬を守る観音さん。
【アクセス】相良村役場から国道445号を五木方面へ6km進み左折し、観音大橋を渡って右折。

乗用車4台駐車可。洋式トイレ。

⓳ 十九番札所　内山観音（うちやま） Uchiyama Kannon

本尊の千手観音は火災に遭うなどして代わりの菩薩像が祀られていたが、平成になり現在の観音さまが奉納。本堂の東側に、内山観音の申し子である千手の局の墓があるといわれている。
【ご利益】安産と病気平癒。
【アクセス】深田小学校から県道48号線を相良方面へ2km進む。

乗用車3台駐車可。洋式トイレ。

⓴ 二十番札所　植深田観音（うえふかだ） Uefukada Kannon

球磨川の眺望がすばらしい崖の上に観音堂がある。ご本尊の聖観音立像と聖観音坐像、それと不動明王像が安置されており、ご本尊はやや左を向いている。
【アクセス】深田小学校から県道33号線を須恵方面へ800m進む。

中型バス1台、乗用車3台駐車可。和式トイレ。

㉑ 二十一番札所　永峰観音（ながみね） Nagamine Kannon

如意輪観音と共に石地蔵尊と上品下生の印を結んだ阿弥陀如来像がある。本尊が如意輪観音立像であるのはここだけ。
【ご利益】願いをかなえ、悩み多き民衆を救う。
【アクセス】深田小学校から県道33号線を須恵方面へ2.2km進む。

駐車場なし。洋式トイレ。

㉒ 二十二番 札所　上手観音（うわて） Uwate Kannon

ご本尊は聖観音立像で、阿弥陀如来座像も安置されている。近くに悲しい物語にまつわる「おいちの墓」がある。
【アクセス】あさぎり町役場須恵支所から免田方面へ100m進む。

駐車場なし。トイレなし。

覚井観音（かくい） Kakui Kannon

県道の拡張工事により現在地に移転しお堂が新設された。本尊は檜の一木造りで彩色が美しい十一面観音座像。
【ご利益】安産、家内安全の観音様として知られる。
【アクセス】あさぎり町役場須恵支所から県道33号線を東へ30m進み、右折。

小型バス1台、乗用車5台駐車可。徒歩2分に公衆トイレ。

㉓ 二十三番札所　栖山観音（すやま） Suyama Kannon

身高281cmと三十三観音の中で最大の千手観音立像。脇の四天王や毘沙門天とともに県指定文化財になっている。平安時代後期の作といわれている。
【ご利益】安産の御利益で知られている。
【アクセス】多良木駅から県道266号線を北へ4km進む。

大型バス2台、小型バス8台、乗用車10台駐車可。和・洋式トイレ。

㉔ 二十四番札所　生善院観音（しょうぜんいん） Shozenin Kannon

無実の罪で殺された法印。その母玖月善女の影仏として千手観音が祀られた。極彩色の厨子及びお堂は国の重要文化財。
【ご利益】千の手があるように何事もかなえて下さる。
【アクセス】水上村役場から県道33号線を人吉方面へ4km進む。

乗用車7台駐車可。和式トイレ。

㉔ 二十四番札所　龍泉寺観音（りゅうせんじ） Ryusenji Kannon

龍泉寺は永国寺の末寺。観音堂は明治に覚井の善導寺から移した。観音堂には江戸前期の作とみられる聖観音立像が祀られている。
【アクセス】人吉市から県道33号線を経由し水上村立岩野小学校を左折し、500m進み、レストランふきのとう隣。

乗用車6台駐車可。洋式トイレ。

㉕ 二十五番札所　普門寺観音（ふもんじ） Fumonji Kannon

もともとは、千手・馬頭・十一面・准胝・如意輪・聖の六観音であったが、戦時中に十一面観音が盗まれ、以来五体のまま。
【アクセス】湯前駅から国道388号を水上方面へ1km進んだ里宮神社のそば。

中型バス3台、乗用車15台駐車可。洋式トイレ。

㉖ 二十六番札所　上里の町観音（かみさとのまち） Kamizatonomachi Kannon

本尊は聖観音立像で、嘉永五年（1852年）に、久米の仏師弓削田市内が補修をしたという銘があるが、それ以外の詳しいことは分かっていない。
【ご利益】さらに「奉納九月彼岸」と書いた旗を納め、その旗を妊婦が岩田帯として（縫縫り）旗のお下がりをもらうと お産が軽いと言い伝えられている。
【アクセス】湯前駅から国道219号を宮崎方面へ1km進む。

小型バス2台、乗用車5台駐車可。トイレなし。

㉗ 二十七番札所　宝陀寺観音（ほうだじ） Houdaji Kannon

室町時代中期ごろに滅んだとされる久米氏の寺であったといい、宝台寺と眺台寺も言う。本尊の十一面観音立像は鎌倉後期の作とされ、身高180cmもあり、栖山観音に次ぐ大きさを誇る。
【ご利益】襲の観音さん、お産の観音さんとも言われている。女性の33歳の厄年に「奉寄進」と書いた旗を掲げ、厄逃れを願う。また、無事に出産し、たくさん、赤ちゃんを抱いてお礼参りするのが習わし。
【アクセス】湯前駅から県道43号線を経由して南へ4km進む。

大型バス2台、乗用車15台駐車可。和式トイレ。

㉘ 二十八番札所　中山観音（なかやま） Nakayama Kannon

人吉藩家老井口石見が隠居をしていた所で、相良三十三観音の巡礼の歌はここで書かれたとされる。本尊は聖観音立像で、四天王と共に県指定の文化財になっている。
【ご利益】鐘の尾（鐘を鳴らす紐（さらし））を、腹帯（岩田帯）として妊婦が巻くと安産だといわれている。
【アクセス】多良木町奥野の老人憩いの家の側から幸野溝を渡り、南に入る。

大型バス2台、中型バス2台、小型バス3台駐車可。洋式トイレ。

㉙ 二十九番札所　宮原観音（みやはら） Miyahara Kannon

お堂は厨子とともに県指定の文化財になっている。本尊は聖観音で江戸時代の作といわれ不動明王と毘沙門天が脇士として祀られている。
【ご利益】お産の神様と地元の人達はいっている。
【アクセス】あさぎり町国原支所前の道路を南東に3km進む。

大型バス1台、中型バス1台、小型バス1台、乗用車10台駐車可。洋式トイレ。

㉚ 三十番札所　秋時観音（あきとき） Akitoki Kannon

観音堂は諏訪神社と稲荷神社と並んで建っている。近くの花峯礼山に永里城があって、永里城の菩提寺、珠宝寺の ご本尊であったとされる。本尊は十一面観音座像。
【アクセス】上小学校から県道43号線を東に1km進み、右折して1km進む。

大型バス1台、中型バス2台、小型バス1台、乗用車5台駐車可。和・洋式トイレ。

㉛ 三十一番札所　土屋観音（つちや） Tsuchiya Kannon

永国寺の和尚・大蟲慈虎が、小横山の麓に一院を建て、一乗寺と名づけた。そのなごりが土屋の観音堂。本尊は聖観音坐像だが盗難により新しく寄進された。御堂は平成16年に修復された。
【アクセス】錦町役場から球磨川方面へ1km進む。

中型バス1台、小型バス2台、乗用車10台駐車可。トイレなし。

㉜ 三十二番札所　新宮寺六観音（しんぐうじろく） Shinguji Temple six Kannon

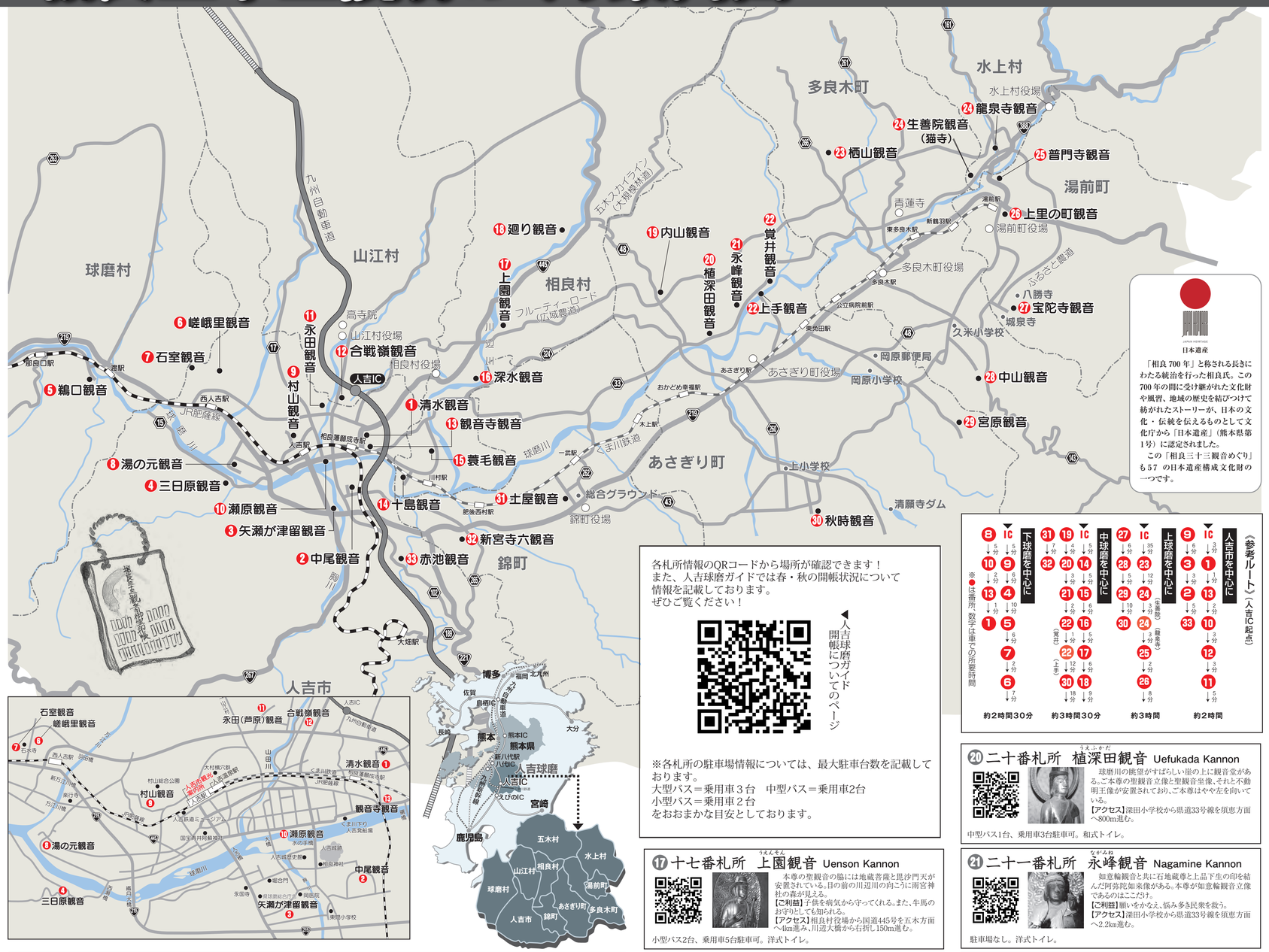
全部が完成するまで54年間もかかったとされる六観音は、向かって右から聖観音、准胝観音、馬頭観音、千手観音、十一面観音、如意輪観音。
【ご利益】如意輪（子宝）観音は、子授け、子育ての御利益があり、馬頭観音は、牛や家畜を守る観音様。
【アクセス】錦町役場から国道219号を人吉方面へ4km進む。

大型バス4台、中型バス6台、小型バス10台、乗用車50台駐車可。和・洋式トイレ。

㉝ 三十三番札所　赤池観音（あかいけ） Akaike Kannon

聖観音と菩薩二体が祀られている。観音像は色鮮やかなヒノキの一木造りで、桃山～江戸時代の作。お堂のまわりにはたくさんの五輪塔や宝塔が建つ。三十三観音めぐり最後の札所。
【アクセス】国道219号の交差点から県道102号線を南へ3km進む。

大型バス1台、中型バス1台、乗用車10台駐車可。和・洋式トイレ。



各札所情報のQRコードから場所が確認できます！
また、人吉球磨ガイドでは春・秋の開帳状況について情報を記載しております。
ぜひご覧ください！

◀人吉球磨ガイド開帳についてのページ

※各札所の駐車場情報については、最大駐車台数を記載しております。
大型バス＝乗用車３台　中型バス＝乗用車2台
小型バス＝乗用車２台
をおおまかな目安としております。

日本遺産

「相良 700 年」と称される長きにわたる統治を行った相良氏。この700年の間に受け継がれた文化財や風習、地域の歴史を結びつけて紡がれたストーリーが、日本の文化・伝統を伝えるものとして文化庁から「日本遺産」（熊本県第1号）に認定されました。
この「相良三十三観音めぐり」も57 の日本遺産構成文化財の一つです。

《参考ルート》（人吉IC起点）

※●は番所、数字は車での所要時間

人吉市を中心に

番所	所要時間
❶	1分
❸	3分
❷	5分
㉝	5分
❶	1分
❸	3分
❷	5分
㉝	5分
❿	3分
⓬	9分
⓫	5分

約2時間

上球磨を中心に

番所	所要時間
❾	6分
❶	3分
❸	3分
❷	5分
㉔（生善院）	3分
㉔（龍泉寺）	5分
㉕	5分
㉖	5分

約2時間

中球磨を中心に

番所	所要時間
㉗	5分
㉘	5分
㉙	10分
㉚	10分
㉓	12分
㉔（生善院）	3分
㉔（龍泉寺）	5分
㉕	8分

約3時間

下球磨を中心に

番所	所要時間
㉛	7分
㉜	7分
⑲	4分
⑳	5分
⑭	5分
㉑	3分
⑮	5分
㉒（覚井）	2分
⑯	5分
㉒（上手）	1分
⑰	5分
㉒（上手）	12分
⑱	9分
㉚	18分

約3時間30分

番所	所要時間
❽	5分
❾	5分
❿	2分
⓭	1分
❶	5分
❹	10分
❺	5分
❼	7分
❻	7分

約2時間30分